



## EICMA 2018: ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ部門の事業 拡大がさらに加速

2018年11月6日

PI BBM

- ▶ ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業はさらに拡大し、2018年の売上高は前年比20%増加を予測
- ▶ ボッシュ取締役会メンバーのディルク・ホーアイゼル:「ボッシュは二輪車とパワースポーツ車両に特化したテクノロジーへの投資を続けており、マーケットリーダーとなることを目指しています」
- ▶ 世界初出展- 自動車の技術を二輪車に転用したサラウンド センシング テクノロジー
- ▶ Accident-free(交通事故のない)なライディングへ:ボッシュは包括的な3ステップのセーフティコンセプトで Accident-free の実現に貢献

ミラノ-ボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部門は、世界の二輪車およびパワースポーツ市場で躍進を続けています。ボッシュの2018年の二輪車関連テクノロジーの売上高増加率は、前年比で20%を超えることが予想されています。ボッシュの試算によると、この事業部門の売上高は今後も市場の2倍のペースで成長を遂げる見込みで、2020年にはアシスタンス、パワートレイン、電動化、ネットワーク化システムの合計で売上高10億ユーロを達成することを目標としています。大きな成長が見込まれる市場はインドです。ボッシュは、インドにおけるABSの装備義務化や新たな排出ガス基準であるバラートステージ6の導入といった規制動向、および現地の市場動向を踏まえながら、この国に適した二輪車のパワートレインおよびセーフティソリューションを提供しています。ボッシュは継続的な成長が見込まれる市場への投資を続けています。二輪車の世界的な需要は、2017年から2022年の間に毎年4%以上成長し、2022年までに1億2,200万台に達すると予想されています(出典:Freedonia)。2018年、ボッシュは中国およびインドとともに二輪車市場の世界トップ3を形成しているASEANにおいて、現地の市場ニーズに応えられるよう、モーターサイクル&パワースポーツ事業部門の新たな拠点を立ち上げました。「ボッシュは二輪車とパワースポーツ車両に特化したテクノロジーへの投資を続けており、マーケットリーダーとなることを目指しています」と、ボッシュ取締役会メンバーのディルク・ホーアイゼルは述べています。

ボッシュのビジョンは、Accident-free(交通事故のない)、Stress-free(ストレスのない)、そしてほぼ Emission-free(排出ガスのない)な未来のモビリティを実現することであり、これは二輪車にも当てはまります。安全性は、二輪車市場において最も早急な

解決を要する課題の一つです。事実、二輪車のライダーは、道路利用者の中で最も深刻な交通事故被害に遭う可能性が高く、その現状は昔から変わっていません。二輪車のライダーが事故で死亡するリスクは、自動車のドライバーと比較して平均して20倍も高くなります。ポッシュは、包括的な3ステップのセーフティコンセプトによって、Accident-free(交通事故のない)なモビリティの実現に挑戦しています。第1段階として、ブレーキング時および加速時にバイクを安定させること。第2段階は、革新的なサウンドセンシング技術により、予測に基づいた安全性機能ならびに走行快適性を向上させる機能を実現すること。第三段階については、二輪車と周囲の環境をネットワークで接続させることです。

### **包括的なセーフティコンセプト: Accident-free(交通事故のない)なモビリティに向けた3つのステップ**

ポッシュは、ABSやMSCなどのアシスタンスシステムによって、二輪車でのライディングをより安全なものにしてきました。ポッシュの事故調査報告によると、二輪車における負傷事故の約3分の1はMSCによって防ぐことができるとされています。現在、ポッシュはさらに一歩進み、二輪車向けに、いわばライダーを事故から守るためのバーチャルな盾となるようなテクノロジーを開発しました。EICMAでは、アダプティブクルーズコントロール、衝突予知警報、死角検知を含む二輪車向けの新しい安全パッケージが世界初出展となります。このような電子制御式アシスタンスシステムは周囲を常にモニターし、緊急時には人間よりも迅速に対応することが可能です。ポッシュの事故調査報告によると、こうしたレーダーベースのアシスタンスシステムを装備すれば、二輪車事故の7分の1を防ぐことができるとされています。これらのシステムを支えているのは、レーダーセンサー、ブレーキシステム、エンジン制御システムとHMI(ヒューマンマシンインタフェース)を組み合わせた技術です。二輪車のレーダーが二輪車の感覚器官としての役割を担い、これにより新しい二輪車向け安全運転支援機能は周囲の状況を正確に把握できるようになります。安全性の向上だけでなく、ライダーの走行快適性も高めることで、ライディングの楽しさと利便性の向上にもつながります。「未来の二輪車は、見て感じ取る能力を備える必要があります」と、ポッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部門を率いるジェフ・リアッシュ(Geoff Liersch)は述べています。

### **ライディングの楽しみを損なうことなく、安全性がさらに向上**

アシスタンスシステムだけでは道路を安全な場にするのに十分ではありません。未来に向けたポッシュのビジョンは、交通事故の発生を未然に防ぐことです。ポッシュの事故調査報告によると、二輪車と自動車間で相互に通信することができれば、二輪車事故の約3分の1近くを防ぐことができるとされています。このテクノロジーは、半径数百メートルの範囲にいる車両同士が車種、速度、位置、進行方向に関する情報を1秒間に最高10回交換するというもので、ドライバーや車載センサーが二輪車を見つけるはるか以前に二輪車が接近していることを知らせ、事故を防ぐ走行モードを選択することが可能になります。衝突事故が避けられない状況となった場合においても、eCallシステムが自動でサービスセンターに緊急通報を伝送することで、少しでも早くライダーが救命サービスを受けられるようサポートします。「私たちは、ライディングの楽しみを損なうことなく、二輪車のライディングをさらに安全なものとする、新しいテクノロジーの開

発を続けていきます」と、モーターサイクル&パワースポーツ事業部門を率いるジェフ・リアッシュ(Geoff Liersch)は述べています。

### 市街地に適した e モビリティの進化

二輪車市場にとって、もう一つの大きな課題は都市化です。現在、世界の人口の 55% が都市部に住んでおり、2050 年には最大約 70%まで上昇すると予想されています(出典:国連)。しかし、人口の増加に伴い、都市部では渋滞が頻繁に見られるようになり、騒音レベルや大気の状態も悪化していきます。こうした世界的な課題に取り組むため、ポッシュでは eBike システムから商用車向けソリューションまで、ほぼ全ての車両セグメント向けに e モビリティソリューションを取り揃えています。二輪、三輪、四輪の小型車両において、ポッシュは 0.25~20 kW の全出力クラスで、効率性に優れた市街地向け電動化ソリューションを提供しています。この電動化ソリューションは、個々のライダーにとってもユニークなライディング体験が得られるものとなっています。ポッシュの電動スクーター統合システムを構成する要素の一つとして、車両情報、ネットワーク化機能、ソーシャルネットワーキングが統合されたアプリがあります。個別の状況下にあるライダーのニーズに焦点を当てたこのアプリにより、ライダーは容易に自身のライディングを管理できるようになります。さらに、ポッシュは自家用車だけでなく、商用車の電動化にも注力しています。速さと柔軟性が求められる物品の配送において、e モビリティはますます重要な役割を果たすようになっています。市街地内において、いわゆるラストワンマイルにおける書状や小包の配達サービスで使用されているリジエ(Ligier)社製貨物三輪車にも、ポッシュの 48 V センtralドライブシステムが採用されています。

### 報道関係対応窓口

Marco Gardenale

電話: +39 (02) 36962511

**EICMA 2018 でポッシュを体験:** スマートなアシスタンスシステムから、ネットワーク化ソリューション、そして新たなパワートレインシステムまで、ポッシュは未来の二輪車とパワースポーツ車両のあり方に即したソリューションを取り揃えています。EICMA 2018 では、ポッシュはホール 13 のブース G55 にて、3 つの分野における最新のソリューションを展示します。

- **ポッシュ記者会見: 2018 年 11 月 6 日(火)、  
9:30 A.M.~9:45 A.M.**  
ホール 13 のポッシュのブース G55 にて、ポッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部門トップを務めるジェフ・リアッシュ(Geoff Liersch)による会見

### 世界のポッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ポッシュ・グループ最大の事業セクターです。2017 年の売上高は 474 億ユーロで、総売上高の 61%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ポッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の 3 つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー/パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム/自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-

Vehicle (車車間)および Vehicle-to-Infrastructure (路車間)通信、オートモーティブ アフターマーケット向けのリペアショップコンセプト/テクノロジー/サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017 年の従業員数は約 40 万 2000 人(2017 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 781 億ユーロ(約 9.9 兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 4,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

\*2017 年の為替平均レート:1 ユーロ=126.71118 円

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)